

始業式 講話  
「ともに学ぶ」

■令和3年4月8日

校長先生の姿届いていますか？

春休みはいかがでしたか？

今日、こうやって皆さんの元気な顔を見ることができ、とてもうれしく思っております。

さて、いよいよ今日から令和3年度の敷津小学校が始まります！

そこで、今日は皆さんに今年度1年間特に力を入れてがんばってほしいことをお話します。

それは「ともに学ぶ」ということです。

ともに学ぶってどういうふうにするかわかりますか？

簡単です。

お友だちといっしょに勉強する、ということです。そう、お勉強というのは、本当はひとりで進めるものですが、これがなかなか難しい。人間はすぐに楽な方に流れがちな生き物で、おうちで勉強しようと思っても、ゲーム機があったらゲームをしてしまう、テレビがついていたらつついテレビをみてしまうということってありませんか？

学校でも、もちろんテストとかは一人でがんばらないといけないのですが、普段の授業のときに、今日の給食なんだろうなあとか考えてぼーとしていて、先生の大事なお話を聞き逃す事ってありませんか？

もし、授業中に絶対にお友だちと相談してはいけないというルールがあったら、ずっとひとりで勉強しなくてはいけなくて、こんなふうに先生の話の聞き逃したり、ちゃんと聞いていてもわからないときには、大変困ったことになります。

もちろん、一人でも勉強できるよというお友だちもいるかと思います。でも、ほとんどのお友だちは、ひとりだけでお勉強するのは難しいと思います。

人間はそれぐらい弱い生き物です。ボーとしていたり、お友だちとふざけていて、勉強がわからなくなることはよくあります。

だから、おともだちと支え合って学んでいくのです。だから、みなさんは学校に来て、聞き合って、学び合っていくのです。

一人で学べる人ばかりだったら、そもそも学校なんていりません。みんな一人で学べないから、学校に来て学び合うのです。

そして、ここからが大切なのですが、わからないとき、聞き逃して困っているとき、ひとりで悩みを抱えるのではなく「わかりません。」とお友だち言うことが重要です。

さらに、これが少々難しいかもしれませんが、お友だちに「おしえて！」と言うのです。

授業中に勉強でわからないときに、おともだちに「教えて」って言えますか。

なかなか難しいと思います。

だからこそ、今年の目標にしたいと思います。そのときに、「わかりません、教えて」を言うことはとても重要です。

そして、お友だちから「教えて」と言われた人は、最後まで、その子がわかるまで教えてあげてください。これも強くお願いします。

3月の最後の修了式のときに、もう一度みなさんに聞きますね。「わからない」が言えましたか。そして、お友だちに「教えて」と言われた人は、きちんと教えることができた1年間でしたかと。

そのときには、全員が「できました！」と言えるように、これからがんばっていきましょう。